

なかがわ 議会だより

No **142**
2022.10

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



地震被害を調査する総務常任委員会

主な 内容

- 第3回定例会【一般質問 3氏】
- 総務常任委員会現地調査報告
- 議会日誌
- 編集後記

◆第3回定例会◆

令和4年第3回定例会は9月15日招集され、会期を10月5日までとし、3議員による一般質問、承認5件、報告2件、議案2件、予算補正5件、意見書1件、会議規則5件、決算認定を決議し、閉会しました。



第3回定例会の様子

議案審議結果

【承認】

▼専決処分の承認について

(8月8日大雨災害)

令和4年度中川町一般会計予算補正

【原案承認】

歳入歳出総額にそれぞれ2438万円を追加し、予算総額をそれぞれ40億8386万円4千円とする。

主な補正内容は町道の冠水被害に伴う土砂除去やポンプ排水作業手数料、林道大和線や町道の災害復旧調査委託の追加。

9千円とする。
主な補正内容は導水管の修繕費用の追加。

令和4年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正

【原案承認】

歳入歳出総額にそれぞれ28万円を追加し、予算総額をそれぞれ1億1632万1千円とする。

主な補正内容は仮設トイレ設置費用の追加。

▼専決処分の承認について

(8月11日地震災害)

令和4年度中川町一般会計予算補正

【原案承認】

歳入歳出総額にそれぞれ680万8千円を追加し、予算総額をそれぞれ40億9067万2千円とする。

主な補正内容は地震被害に伴う各公共施設の修繕、点検費用、備品購入や災害廃棄物のごみ処理費用の追加。

令和4年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

【原案承認】

歳入歳出予算それぞれ200万円を追加し、予算総額をそれぞれ2億8305万9千円とする。

主な補正内容は地震に伴う

水道管漏水の調査費用の追加。

【報告】

▼令和3年度中川町健全化判断比率の報告

【報告済】

令和3年度中川町健全化判断比率のうち、実質公債費比率は13・7%。早期健全化基準25%を下回る。

▼令和3年度中川町資金不足比率の報告

【報告済】

令和3年度は資金不足が生じなかったため数値なし。経営健全化基準20%を下回る。

【条例一部改正】

▼職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

雇用保険法の一部を改正する法律の施行にあたり必要な事項を含め、育児又は介護を行う職員の職業、家庭生活の両立を一層容易にするための改正。

【議案】

▼工事請負契約の一部を変更することについて

【原案可決】

工事に使用する骨材を納入する予定の町内指定ブランドが生産を中止し、町外の骨材

プラントからの納入となり、単価が上昇したため変更。工期の変更はなし。

契約金額5500万円
変更後6427万3千円

【予算】

▼令和4年度中川町一般会計
予算補正 【原案可決】

歳入歳出総額に、それぞれ6480万8千円を追加し、予算総額をそれぞれ41億5548万円とする。

主な補正内容は、地震被害に伴う各公共施設の点検や修繕、町道の補修工事。非課税の高齢者世帯や障がい者世帯への臨時生活支援事業、子育て世帯等生活支援事業、0歳児の入所増に伴う会計年度任用職員の費用、肥料・飼料・燃料費の高騰に伴う農業者や商工事業者への補助及び町民への地域応援商品券配布。職員退職手当組合負担金等の追加。

▼令和4年度中川町国民健康保険特別会計予算補正

【原案可決】

歳入歳出総額からそれぞれ164万3千円を減額し、予算総額をそれぞれ2億3050万5千円とする。

主な補正内容は一般被保険

者医療給付費分等の減額。

▼令和4年度中川町介護保険特別会計予算補正

【原案可決】

歳入歳出総額に、それぞれ145万7千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億8632万8千円とする。

主な補正内容は職員の人事異動に伴う給料、手当、共済費の追加。

▼令和4年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

【原案可決】

歳入歳出総額にそれぞれ25万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億8331万4千円とする。

主な補正内容は職員の人事異動に伴う給料、手当、共済費の追加。

【会議規則に伴うもの】
▼閉会中の継続調査の申し出
(総務常任委員会)

■事件
1 医療・福祉施設の運営について

2 住民交通機関対策について

3 地域教育力の向上について

4 総務常任委員会にかかわる施策について

■期限

令和4年第4回定例会まで

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出
(経済常任委員会)

■事件
1 産業振興対策の現況と今後の展開について

・農林業振興政策について
・有害鳥獣対策について

2 公共施設の今後のあり方について

3 経済常任委員会にかかわる施策について

■期限
令和4年第4回定例会まで

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出
(議会運営委員会)

■事件
1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限
令和3年4回定例会まで

【継続調査決定】

▼国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

■地方自治法第99条の規定に基づき関係各位に送付。

※意見書の要旨は5ページに

記載

【決算審査】

10月4日・5日の2日間にわたり審議しました。詳細については、次号にてお知らせします。

【会議規則に伴うもの】

▼ポンピラアクアリズイング基本計画策定特別委員会審査報告

本委員会に付託された、「ポンピラアクアリズイング基本計画策定特別委員会」の審査報告については施設の劣化が著しく改築や新築等の投資が必要との意見で一致した。

【予算】
▼令和4年度中川町一般会計
予算補正について

【原案可決】
歳入歳出総額にそれぞれ1920万4千円を追加し、予算総額をそれぞれ41億7468万円4千円とする。

主な補正内容は電気、ガス、食料品の値上げに伴う非課税世帯支援事業、オミクロン株のワクチン接種に伴う追加。

▼専決処分の承認について

(令和4年度中川町一般会計
予算補正)

○災害に関する専決補正や報告はもつと早くに議会を招集するべきなのでは。

○定例会が直近にあつたためそこで報告する形とした。早期に臨時会を招集する点については議長とも今後相談したい。



○工事請負契約の一部を変更する事について(令和4年度歌内本線道路改良工事1工区)

○町内で骨材を仕入れることが出来なくなったとあるが、発注の段階で確認はしなかったのか。

○今年の4月に町内の骨材のプラントが中止するという話があったが、その段階では町外の砂利の単価が決まってい

なかつたため、単価が決まり次第設計変更対応とした。

○契約額が大きく増加しているが起債や補助金額に変更はないのか。

○歳出については、他の道路事業と調整し、予算の枠内で対応している。歳入については、確定次第補正提案する。

▼令和4年度中川町一般会計予算補正について

○肥料高騰の農業者への補助について国の政策のように条件は設けないのか。

○本町の今回の対策において条件は付けていない。

○農業者への燃料軽油の1リットル6.3円補助とあるが元の免税軽油はいくらなのか。

○令和3年4月1日の時点では138円だったが令和4年4月1日では157円となっている。

○9月30日現在、非課税世帯が270世帯とあるが中川町の世帯の総数について。

○現在の中川町の世帯数は750世帯前後で推移しております。

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

主な要請内容は次の通りです。

- 一、国土強靱化に資する社会資本の整備・管理が長期安定的に進められるよう、公共事業関係予算の所要額を確保するとともに、地域の実態に鑑み予算を重点配分すること。
- 一、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めるために必要な予算・財源を確保するとともに、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進めることが重要であることから、5か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保し継続的に取り組むこと。
- 一、新広域道路交通計画に基づき、高規格道路については、着手済み区間の早期開通、未着手区間の早期着手及び暫定2車線区間の4車線化といった機能強化を図ること。また、高規格道路と並行する国道とのダブルネットワークの構築や道路の防災対策・無電柱化などによるリダンダンシーの確保を図ること。
- 一、橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策を推進するため、点検・診断・補修などのメンテナンスサイクルを確立し、予防保全を含む戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の拡充を図ること。
- 一、地域の安全な暮らしや経済活動を支える基盤づくりのため、通学路の交通安全対策などの道路整備や除排雪を含む年間を通じた維持管理の充実が図られるよう、必要な予算を確保すること。
- 一、維持管理に活用可能な交付金制度を創設するとともに、公営住宅など公共施設の長寿命化について、すべての管理施設の点検や診断、補修、更新が交付対象となるよう採択要件を緩和するなど、地方負担の軽減を図ること。
- 一、冬期における円滑な交通確保のため、除排雪に必要な予算を確保するとともに、老朽化が進行している除雪機械等の計画的な更新・増強が可能となるよう財政支援を強化すること。
- 一、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するため、粘り強い堤防の整備に関する交付金制度の拡充や準用河川改修の事業要件緩和、小規模河川改修に対応した財政、技術支援制度の創設など、「流域治水」の取組に必要な財政支援をさらに強化すること。
- 一、災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、提出する。

令和4年9月16日
内閣総理大臣他6名 宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤 輝雄

総務常任委員会 現地調査

今夏8月、中川町開闢（かいびやく）以来の豪雨と震度五強の地震が相次ぎ、町民に恐怖と生活環境に被害を出し、今なお不便と修復に追われております。

当委員会は、この災害状況の対応と今後の対策も含めて9月21日に現地調査を致しました。

また、兼ねてから老朽化、不用化した公共施設と併せて（各町内会館・教育施設・町有住宅等）調査し、今後の対策にいたすつもりで視察調査をしたところであります。



地震で落下した町民プールの換気扇

問 森林環境譲与税の展開について

答 適切な民有林・町有林育成を促進していく

森林の公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養等、住民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていくことは、国土や、国民の生命を守ることとなります。一方森林管理において、整備の根幹になる、森林所在地における諸問題が大きな課題となっており、特に森林所有者不在が顕著になり、管理不行き届きが増え、放置される山林・山林地が、地方の過疎化と並行して増加が顕著になってきています。また森林作業での担い手不足、作業機械の大型化などの課題が日増しに増加しております。これ等の諸課題の解消を図ることに、パリ協定等温室効果ガス排出削減目標の達成や、自然災害防止を図るための森林整備に必要な地方財源の確保に「森林環境税」が創設されたところであります。

我が町としての、この趣旨に副う事業展開についてお伺いいたします。また特に不在地主化が進む我が町としての事業展開をお伺いいたします。特に不在地主対策、この地方の重要な森林組合機関の支所廃止があり森林所有者や関係者の不安が増加してきていますが、今後の対処・展開について伺います。また特に近隣市町村との連携した森林育成・管理業務等について伺います。



鎌塚一成 議員

び森林環境譲与税は、森林の有する公益的機能の維持増進の重要性に鑑み、市町村や都道府県が実施する、森林整備及びその促進に関する施策の財源として創設されたものと認識しております。本税並びに譲与税は、平成30年度の税制改正の中で、制度創設の閣議決定がなされ令和6年度から国民一人当たり1,000円の税徴収に先立ち、令和元年度から自治体に譲与が開始されていくと聞いております。

本町はこれまでも、温室効果ガスの吸収源対策に、人工林の間伐や再造林を推進するため、民有林管理推進事業、豊かな森づくり推進事業により、民有林の適正管理と造林を推進し、森林環境保全整備事業により町有林の適正管理を行っております。

2点目の「不在地主対策と森林組合中川支所の廃止について」であります。離町者・道外転出者など所有する森林を整備・管理ができない所有者には、自治体や意欲と技術のある森林経営者等に森林の経営や管理を委ねるよう働きを強め、整備の行き届かない森林の減少に努めてまいりたいと考えております。

森林組合中川支所につきましては、運営継続を要望し、協議したところであります。事業量や職員の確保が困難であるとのことで、閉鎖となりました。適正な管理や相談体制について対応をして頂く約束を得ております。

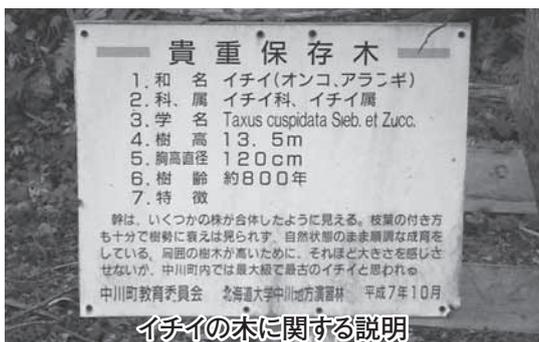
3点目の「近隣市町村と連携した森林育成・管理業務等について」であります。上川総合振興局及び管内市町村、森林組合等で連携して「森林吸収源対策推進上川地域協議会」に参加しており連携した森林の育成や整備、管理に取り組んでいきたいと考えております。

石垣町長

1点目の「森林環境譲与税の趣旨に副う事業展開について」であります。ご承知のとおり創設の背景は、我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、林業経営に適さず、所有者による自発的な施策が見込まれていない森林について市町村自ら管理する森林経営管理制度の創設に併せ、市町村が実施する森林整備等に必要な財源を確保するために創設されたものであり、森林環境税及



ポンピラアクアリズイングの裏に立つ 樹齢800年のイチイの木



イチイの木に関する説明

問

物価、生産資材の高騰により経営に苦慮している農業者への支援について

答

J Aなどの関連機関と協力し、農業生産者の経営安定の一助を図っていく



平木総司 議員

物価、生産資材の高騰により経営に苦慮している農業者への支援について以下のことを行います。

1. 本町の農業について、現在の農家戸数と農業生産額

の状況について伺います。

2. コロナ禍における乳製品の消費低迷や原油価格、生産資材の高騰が町内農業者の経営に与える影響についてどのように認識しているのか伺います。また、それにより農業者への物価高騰対策に係る支援を考えているか伺います。

石垣町長

1 点目について、本町の農家戸数は8月31日の時点で耕種農家30戸、畜産農家19戸で、合計49戸となっております。

農業生産額につきましては、直近の令和3年度では、農産物が2億4,825万円、畜産物が8億3,668万円、合計10億8,493万円となっております。

農家戸数は平成23年度の59戸から令和3年までの10年間で10戸減少し、農業生産額に

つきましても、同年の生産額は11億562万円で、若干の減少はありつつも、新規就農や農地の集積及び機械化による規模拡大などで農業地域としての生産空間は何とか維持できている状況と認識しています。

2 点目について、乳製品においては新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国の業務需要が低迷し、昨年の年末から年始において生乳大量廃棄の危機に直面したことはご記憶の通りであります。本年度においても、ホクレンは

乳製品の需要緩和を踏まえて、総体的に生乳の生産を抑制していることから、生産者に影響が出ることを懸念しているところであります。

また、今定例会の補正予算において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰対策にかかる農業者に、3つの支援策を計上させていただいたところであります。

1 つめは、肥料高騰に対する支援として、肥料価格高騰

の影響を受けている町内の認定農業者に対し、各農業者の肥料経費を金額で段階的に区分し、1戸当たり10万円〜100万円の支援金を給付するもの。

2 つめは、飼料高騰に対する支援として、飼料価格高騰の影響を受けている町内の認定農業者に対し、各農業者が拠出する配合飼料価格安定制度の積立金を1トン当たり600円の1/3を支給するもの。

3 つめは、燃料高騰に対する支援として、燃料価格高騰の影響を受けている町内の認定農業者に対し、各農業者の免税軽油の購入実績に応じ、1リットル当たり6.3円を支給するもの。これらの支援

により、営農経費の負担額を軽減するとともに、生産者の経営意欲、生産空間の維持を図り、農業生産者の経営と協力し、農業生産者の経営安定の一助を図ってまいりますので、消費者であります町民のみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

問

地震による公共施設の被害と復旧について

答

利用者のみなさまに安心・安全にご利用していただけるよう早期に工事等を実施する

地震による公共施設の被害と復旧について、トレンセン、町民プールの被害状況と復旧についてお伺いします。

石垣町長

町民プール及び農業者トレーニン

グセンターは、目視点検での安全の確認ができないため、詳細な点検が完了するまでは使用を中止することが必要との所見が示されているところであります。特に被害状況が顕著でありました町民プールにつきましては、地震による地下配管の損傷等により水が抜け遊泳できない状況であり、更に壁材や天井材の剥落、換気扇の脱落など、利用者の安全が担保できない状態となっております。専門家の所見から、震災発生の11日をもって今シーズンの供用を終了する措置を講じたところであります。

農業者トレーニングセンターにおきましては、出入り口の枠組みと天井との接続部分、ロビー柱などに大きな亀裂が確認され、さらに更衣室出入

り口上部の梁の断裂、アーリーナ照明のカバーの脱落、アーリーナ天井材の剥がれ落ちや釘類の脱落等が確認されています。これらの状況から、当面の供用の中止という対応を講じたところであります。

おしらせ君での周知とともに、8月24日に農業者トレーニングセンター利用団体のみなさまにお集まりいただき、被害状況の説明と今後の見通し、ちやいむアリーナ等を代替として活動を継続していただきたい旨のご説明を申し上げます。ご理解をいただいたところであります。

今後についてであります。本定例会でご提案させていただきました両施設の地震被害箇所詳細点検委託において、補修必要箇所及び補修の方向性を明らかにし、できる限り早期に工事等を実施し、利用者のみなさまに安心・安全にご利用していただけるよう進めてまいります。

確認され、さらに更衣室出入り口上部の梁の断裂、アーリーナ照明のカバーの脱落、アーリーナ天井材の剥がれ落ちや釘類の脱落等が確認されています。これらの状況から、当面の供用の中止という対応を講じたところであります。

問 主要公約の総括について

答 町内事業の継続と雇用を支え需要消費を喚起し、感染拡大を防止する対策を行っていく



小池 豊 議員

評価着手となりました。全国共済農業協同組合連合会北海道支部から高規格救急車両の寄贈を受け災害に強いまちづくりの成果を出すことができました。

3点目ですが地方創生の課題は、東京サテライトの情報発信、観光関連団体の連携と農業生産空間の維持拡大です。一般会計の平成30年度末の借金は58億円でしたが補助金交付金の活用を徹底し、地方創生推進交付金や北海道人材派遣制度を活用し残高を11億5千万円減らしました。地域で取り組むべき施策のデジタルトランスフォーメーション、ゼロカーボンは組織と財政を見極めて対応します。

切り離された、お年寄りの心情はいかがなものかと思うのですが、町長の心情を伺います。

石垣町長
敬老祝いの金の88歳99歳のそれぞれ3万円5万円の施策は全員協議会の中で審議をいたし、最終的に議会の承認をいただき施策に強弱をつけて、現状展開しています。

公約に「自ら汗をかき」と記載しました。職員から就任したメリットとして自ら事務仕事をこなし、行政的・政治的要望を重ね事業を展開しております。今後においても職員の力、議会の皆さんの助言をいただき行政運営をしてまいります。

再質問
住民がこの町で安心して満足されているかについては、疑問点があるかと思いますが、最近のことであるが、公共施設の一心苑で骨折事故があり、施設として適切な対応が行われていないとお聞きするが、こうしたことが住民やお年寄りに不安を与えておりませんか。

重ねたと認識しています。上下水道料金や住民サービスの見直しでは諮問機関に検討をいただきました。地方創生活交付金を活用した地域商社と東京サテライト連携事業は、広報紙での説明とポスターセッションによる住民の意見要望を受け手応えを確認しました。

再質問
住民がこの町で安心して満足されているかについては、疑問点があるかと思いますが、公共施設の一心苑で骨折事故があり、施設として適切な対応が行われていないとお聞きするが、こうしたことが住民やお年寄りに不安を与えておりませんか。

2点目について、8月8日から9日の大雨と11日未明に地震がありました。改めて災害への備えの重要性を認識しました。被災された町民のみなさまには心からお見舞いを申し上げます。行政の使命は住民の生命財産を守ることです。停電の早期復旧には上川北部石油業協同組合や北電ネットワークとの協定を締結し非常時に備えております。国土強靱化地域計画・公共施設個別施設計画他・耐震改修促進計画・学校施設長寿命化計画の策定、地域防災計画の変更を行いました。高速道路の整備の要望活動により音威子府バイパスの令和7年度供用、縦貫道中川天塩間の計画段階

再質問
町長は、子供からお年寄りまで安心して暮らせる町づくりと掲げていましたが、中川町で故郷を長年守り貢献されてきたお年寄りの祝い金などを

石垣町長

主要公約の総括のご質問にお答えします。

「子供からお年寄りまで、安心して暮らせるまちづくり」を公約に行政運営をしており

ます。将来の行政サービスの

1 町民みんなで作るまちづくり
2 町民みんなで作る災害に強いまちづくり
3 町民みんなのためにかわる行政と財政の健全化

継続性・持続性の配慮、あらゆる産業の連携と効率的・付加価値の高いモノづくりによる力強い生産空間と地域の存在価値を高めること、住民の生命財産を守る防災減災対策は行政経験を活かし、自ら汗をかき職員、住民と着実にすすめて取り組んできました。この間、新型コロナウイルス感染症対策やロシア・ウクライナ情勢による物価上昇など多大な影響を受けました。経済等対策予算提案を含め、引き続き町内事業の継続と雇用を支え需要消費を喚起し、感染拡大を防止する対策をしてまいりますので議員各位のご理解とご協力をお願いします。

1点目について、令和2年2月から引き続きコロナ禍により、適切な時期に関係団体や関係するみなさまとの話し合い・説明会を開催できない場面もありました。毎年度予算、特定の事業に関する説明会や各種要望懇談会、全員協議会への報告説明はそれぞれ30回程度となり一定の回数を

再質問
町長は、子供からお年寄りまで安心して暮らせる町づくりと掲げていましたが、中川町で故郷を長年守り貢献されてきたお年寄りの祝い金などを

2点目について、8月8日から9日の大雨と11日未明に地震がありました。改めて災害への備えの重要性を認識しました。被災された町民のみなさまには心からお見舞いを申し上げます。行政の使命は住民の生命財産を守ることです。停電の早期復旧には上川北部石油業協同組合や北電ネットワークとの協定を締結し非常時に備えております。国土強靱化地域計画・公共施設個別施設計画他・耐震改修促進計画・学校施設長寿命化計画の策定、地域防災計画の変更を行いました。高速道路の整備の要望活動により音威子府バイパスの令和7年度供用、縦貫道中川天塩間の計画段階

継続性・持続性の配慮、あらゆる産業の連携と効率的・付加価値の高いモノづくりによる力強い生産空間と地域の存在価値を高めること、住民の生命財産を守る防災減災対策は行政経験を活かし、自ら汗をかき職員、住民と着実にすすめて取り組んできました。この間、新型コロナウイルス感染症対策やロシア・ウクライナ情勢による物価上昇など多大な影響を受けました。経済等対策予算提案を含め、引き続き町内事業の継続と雇用を支え需要消費を喚起し、感染拡大を防止する対策をしてまいりますので議員各位のご理解とご協力をお願いします。

2点目について、8月8日から9日の大雨と11日未明に地震がありました。改めて災害への備えの重要性を認識しました。被災された町民のみなさまには心からお見舞いを申し上げます。行政の使命は住民の生命財産を守ることです。停電の早期復旧には上川北部石油業協同組合や北電ネットワークとの協定を締結し非常時に備えております。国土強靱化地域計画・公共施設個別施設計画他・耐震改修促進計画・学校施設長寿命化計画の策定、地域防災計画の変更を行いました。高速道路の整備の要望活動により音威子府バイパスの令和7年度供用、縦貫道中川天塩間の計画段階

再質問
町長は、子供からお年寄りまで安心して暮らせる町づくりと掲げていましたが、中川町で故郷を長年守り貢献されてきたお年寄りの祝い金などを

3 町民みんなのためにかわる行政と財政の健全化

継続性・持続性の配慮、あらゆる産業の連携と効率的・付加価値の高いモノづくりによる力強い生産空間と地域の存在価値を高めること、住民の生命財産を守る防災減災対策は行政経験を活かし、自ら汗をかき職員、住民と着実にすすめて取り組んできました。この間、新型コロナウイルス感染症対策やロシア・ウクライナ情勢による物価上昇など多大な影響を受けました。経済等対策予算提案を含め、引き続き町内事業の継続と雇用を支え需要消費を喚起し、感染拡大を防止する対策をしてまいりますので議員各位のご理解とご協力をお願いします。

2点目について、8月8日から9日の大雨と11日未明に地震がありました。改めて災害への備えの重要性を認識しました。被災された町民のみなさまには心からお見舞いを申し上げます。行政の使命は住民の生命財産を守ることです。停電の早期復旧には上川北部石油業協同組合や北電ネットワークとの協定を締結し非常時に備えております。国土強靱化地域計画・公共施設個別施設計画他・耐震改修促進計画・学校施設長寿命化計画の策定、地域防災計画の変更を行いました。高速道路の整備の要望活動により音威子府バイパスの令和7年度供用、縦貫道中川天塩間の計画段階

再質問
町長は、子供からお年寄りまで安心して暮らせる町づくりと掲げていましたが、中川町で故郷を長年守り貢献されてきたお年寄りの祝い金などを

議会 会 目 誌

7月

- 21日 第2回総務常任委員会
- 26日 上川地方総合開発期成会
中央要望 【東京都】

8月

- 5日 上川北部市町村議会議長会
臨時会議 【美深町】
- 19日 第7回ポンピラアクアリス
イング基本計画策定特別委
員会
- 第6回議会運営委員会

9月

- 1日 持続可能な上川の農業と、
道北が果たす防衛体制の在
り方を学ぶセミナー
【旭川市】
- 今津ひろふみ連合後援会設
立総会 【美瑛町】
- 2日 鈴木宗男参議院議員
国政報告会 【旭川市】
- 3日 第27回「幌加内町新そば祭
り」 【幌加内町】
- 7日 第8回全員協議会
- 第7回議会運営委員会
- 8日 古川国土交通省政務官来庁
鈴木直道知事
- 10日 政経セミナー 【札幌市】

10月

- 15日 第9回全員協議会
- 第3回定例会
- 16日 第3回定例会
- 第8回ポンピラアクアリス
イング基本計画策定特別委
員会
- 21日 第3回総務常任委員会
現地調査
- 4日 決算審査
- 第10回全員協議会
- 第9回ポンピラアクアリス
イング基本計画策定特別委
員会
- 第8回議会運営委員会
- 5日 決算審査
- 表彰審査委員会
- 13日 占冠村議会議員視察
- 北・北海道高速交通フォー
ラム
- 19日 令和4年度上川管内町村議
会議長研修会 【中富良野町】
- 24日 脱炭素化社会に向けた研修
会
- 26日 令和4年度上川町村議会議
長会議員研修会 【旭川市】

議会モニターを 募集しています

町議会の円滑で民主的な議会運営を
推進するため、町民からの要望や提言
及び意見等を広くお聞きし、今後の議
会運営に反映していく目的で「町議会
モニター」を募集しています。

町議会の仕組みや運営に関心があり、
町行政及び地域社会の発展に関心のあ
る方のご応募をお待ちしております。

■応募条件（若干名）

- ・満18歳以上の町民で、公務員、各種
行政委員でない方
- ・町議会の仕組みや運営に関心がある
方
- ・町政及び地域社会の発展に関心があ
る方
- 任期
- ・着任の日から令和5年4月までとし、
再任は妨げない。
- 職務の内容
- ・年4回開催の定例会に出席し、その
意見を文書等により提出
- ・「議会だより」に関する意見を文書
等により提出

詳しくは議会事務局 ☎ 7・2944
までお問い合わせください。

編集後記

10月に入り季節は秋から冬へと
変わりつつある昨今。四季の変化
がとて素敵な中川町は、季節が
冬へと変わりつつあります。

さて、最近の出来事は8月の豪
雨災害に始まり、2日後には震度
5強の未だ経験したことのない大
地震。まだ余震が気になる日々が
続いていると思います。地震での
被害にあわれた方々にお見舞いを
申し上げます。

新型コロナウイルスは落ち着き
を見せつつある中、面白い話題と
して9月中旬に秋味まつりが3年
ぶりに開催され、皆様は会場に訪
れ楽しい時間を過ごせたかと思
います。今後において、今まで通り
のイベントができる日も近づいて
いるのではないのでしょうか。

これからも様々なイベントや行
事で楽しめる町に戻ってもらいた
いと切に願います。
(英責)

議会広報特別委員会

- 委員長 佐々木 英和
- 委員 小池 豊

